

**【D-Collection2022 新型コロナウイルス感染拡大予防対策のガイドライン】**

2022年5月

D-Collection2022の開催に際し、出演者・観客・スタッフ・関係者（以下「来場者」という）の安全を確保するため、利用施設(市民ホールくさぎ)で提示されている「市民ホール利用ガイドライン」及び緊急事態舞台芸術ネットワークが示す「舞台芸術公演における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン（第四版）」の考え方・対策を活用しながら、感染予防対策に取り組みます。

**■公演形態について**

大声での歓声・声援がないダンス発表を行う。通常定員で開催する。利用会場の定めるガイドラインに則って、会場管理者と協議しながら制作を進める。

感染者数の急増などによって社会状況が大きく変化した場合は、開催方法を変更しての開催・または開催中止とする場合もある。

**■会場全般の対策**

- ・来場者全員に、検温と体調チェックアンケートの提出を実施する。また、来館を控えてもらうケースを事前に周知する。
- ・来場者全員にマスクの着用をお願いする。
- ・来場時に手洗い、手指の消毒を励行する。適切な場所に消毒液を設置する。
- ・施設内のドアノブや手すりなど、不特定多数の人が触れやすい場所の消毒をこまめに行う。
- ・公演ごとに会場内の換気、消毒を行う。また、施設管理者と公演主催者との間で調整の上、公演中も定期的に適切な換気を行う。
- ・会場内(会場入口、入場券受付、ロビー 他)において、列を作る際には可能な限り間隔を開けるよう案内し、人が密集しないよう努める。
- ・入場、退場の際は密にならないように時間を調整する。
- ・来場者の氏名、及び、連絡先の把握に努める。また、必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを、来場者へ事前に周知する。
- ・アマビエちゃんを活用する。

**■客席の対策**

- ・座席の最前列席は、舞台上から適切な距離を取る。
- ・必ずマスクを着用し、大きな声で発声（応援など）をしないよう周知する。

**■舞台の対策**

- ・出演者は、舞台上でのマスクの着用を任意とする（本番のみ。リハーサル時はマスクを着用）ただし、開催時の社会状況によっては、本番時にもマスク着用とする。
- ・発表の前後は、スタッフの指示に従い、必ず手指消毒を行う。
- ・舞台上での故意な発声はしない。

**■公演後の対策**

- ・公演ごとに、可能な範囲で来場者の氏名、及び、連絡先を把握し、名簿を作成・保存するよう努め

る(保存期間を当面1か月以上とする)。なお、個人情報の保護の観点から、名簿等の保管には十分な対策を講じる。

- ・感染を疑われる者が発生した場合には、速やかに所轄の保健所に連絡し、必要な情報提供を行う。

#### ■作品制作について

- ・DAS、D-lifeの示す「作品制作のガイドライン2022」に沿って進める。

#### <参考>

- ・緊急事態舞台芸術ネットワーク 舞台芸術公演における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン

[http://jpasn.net/stage\\_guideline211021a.pdf](http://jpasn.net/stage_guideline211021a.pdf)

- ・つくば市 市民ホール利用ガイドライン

[https://www.city.tsukuba.lg.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_/001/012/446/R4.3civichallguideline.pdf](https://www.city.tsukuba.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/012/446/R4.3civichallguideline.pdf)

- ・市民ホール利用人数一覧

[https://www.city.tsukuba.lg.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_/001/012/446/R4.3civichall\\_riyouninzu.pdf](https://www.city.tsukuba.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/012/446/R4.3civichall_riyouninzu.pdf)